

連載

### 心温まる 1冊⑤



図書館司書がお薦めする本を紹介します。  
問 坂井輪図書館  
(☎025-260-3242)



**風が強く吹いている** 著者：三浦しをん  
発行元：新潮社  
発行年：2006年(文庫は2009年刊)  
市内図書館所蔵数：単行本4冊、文庫本12冊

#### あらすじ

高校時代に陸上部をやめた蔵原走が清瀬灰二に紹介されたのは、今にも崩れ落ちそうなアパート「竹青荘」。竹青荘には灰二のほか、走が4月から通う寛政大学の学生8人が住んでいました。走が入居すると、灰二は「ここにいる10人で箱根駅伝を目指す」と宣言。陸上経験のある走には無謀な挑戦に思いましたが、住人の性格やレベルに合わせた灰二の指導によって、何とか予選会を通過。そして、ついに箱根駅伝がスタートします。

#### おすすめポイント

- 毎年1月2日・3日に行われる東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)。10区間で争うこの大会に、寛政大学はぎりぎりの10人で挑みます。1人の故障者や体調不良者も許されません。陸上部をやめても走ることをやめられなかった走は、「速く」ではなく「強く」なれること、「走るとは何か」を考えます。個性もそれぞれの抱える事情も異なる竹青荘の住人が思いを巡らせ、たすきをつなぎ、ゴールへと進む姿に心を揺さぶられます。



市の図書館で所蔵している資料は、ウェブ予約=右=で希望する館に取り寄せて借りることができます。  
※図書館の窓口で事前登録が必要



連載

エスディーズ SDGsに取り組む市内団体を紹介

## 教えて!みんなのSDGs ④

問 政策調整課(☎025-226-2066)



新潟国際情報大学 SDGs推進団体  
レインボーワールドプロジェクト



### 身近な地域の課題と向き合う

同団体は、SDGsを授業で学んだ学生たちが約3年前に立ち上げたサークルで、海岸清掃や、地域の祭りでSDGsを楽しく学べるイベントを主催しています。

「SDGsと聞くと壮大なイメージがあったのですが、社会や環境問題とのつながりを考えながら身近な地域の課題に取り組むこともSDGsの推進につながると気がきました。地域の人たちも積極的に支援してくれます」と渡邊さんは話します。

### 実践の輪を広げたい

また、SDGsを啓発するためのステッカーを作成し、学内に掲示しています。「節水や節電のこつなど、日常で使える知識を盛り込みました」と近藤さんと佐藤さん。伊藤さんは「私たちも知識を深めながら、学内外でSDGsを日常的に実践する人が増えてくれるように、これからも頑張りたいです」と笑顔で話してくれました。



▲「ステッカーはSDGsの標語だけでなく、目的を知って実践してもらえるように工夫しました」と伊藤さん

## 田園型環境都市として国内外にPR

国内初

# ラムサール条約湿地自治体に認証



Wetland City Network

詳しくはこちらから



問 環境政策課(☎025-226-1359)

新潟市は昨年11月、国内で初めて「ラムサール条約湿地自治体」の認証を受けました。これは、佐潟(西区)が同条約湿地に登録されていることや、湿地の保全・再生活動への地域住民の参加、環境教育などの国際基準を満たしたことで決定されたものです。

これを契機に、新潟市を「田園型環境都市」の世界的なモデル都市として国内外へ広く周知し、魅力向上や地域への愛着の醸成を図ります。さらに、佐潟に加え同条約湿地登録の潜在候補地として環境省に選定されている福島潟(北区)、鳥屋野潟(中央区)など、潟のさらなる保全や活用を促進していきます。

### 中原市長 スイスで同認証の認証式に出席

11月11日(現地時間10日)、スイス・ジュネーブで開催されたラムサール条約締約国会議(COP14)で同認証の認証式が行われ、中原市長が証書を授与されました=写真=。

中原市長は「市民の努力が評価されたもので、誇らしく思います。湿地の大切さを改めて市民の皆さんと共有していきたい」と語りました。



### 2/5日 同認証記念シンポジウムを開催

国内外で活躍する湿地関係者による基調講演、パネルディスカッション、ほか

- 日時 2月5日(日)13時半~16時半
- 場所 ANAクラウンプラザホテル新潟(中央区万代5)
- 定員 先着200人 ●参加費 無料
- 申し込み 1月12日(木)から電話で市役所コールセンター(☎025-243-4894)

### ●ラムサール条約とは

正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」です。

大切な湿地が汚されたり壊されたりしないよう国を超えて協力していくため、1971年にイランのラムサールで締結されました。日本は1980年に加入し、昨年5月時点で世界172カ国が条約締約国となっています。



### ●湿地はなぜ大切?

湿地は、水鳥をはじめ魚や昆虫、植物など、多様な動植物が生息・生育するのに欠かせない場所です。また、農業、漁業、観光、水の供給や防災など、私たち人間にとっても生活に恵みを与えてくれる大切な場所です。



### ●ラムサール条約湿地「佐潟」とは

全国屈指の渡り鳥の集団渡来地として、1996年に県内で初めて同条約湿地に登録されました。

これまでに200種以上の鳥類、650種以上の植物が確認された、貴重な野生生物の生息地です。



定期的に検診を受けましょう。

問 健康増進課(☎025・212・8162)